

5.1 ITプラットフォーム IT Platforms

VR技術を活用した遠隔ショールームの提供



Providing Remote Showrooms Using Virtual Reality

近年、仮想現実(以下“VR”という。)の導入は社会や産業の在り方を大きく変えるパラダイムシフトと言われ注目されているが、自社の事業にどのように適用できるのか悩みを抱える企業も多い。三菱電機インフォメーションネットワーク株(MIND)では、VR技術で、容易に入室できない環境や経験ができない作業などを映像化し、体験できるソリューションを開始した。その中の一つとして、感染症の流行によるショールームへの訪問の制限や移動コスト削減の課題を持つ顧客に対して、遠隔ショールームを提供した。遠隔ショールームは、遠隔地にある実際のショールームをVR技術で再現し、大型スクリーンに映像を投影することで、あたかもその場にいるかのような没入感のある体験が可能なソリューションになっている。最先端のVR技術で課題の解決だけでなく、臨場感あふれるショールームによる製品の訴求力強化やブランディングに寄与する。MIND

では、遠隔ショールームのほかにも、社内研修や技能伝承など、VR技術を活用して顧客の様々な課題を解決するソリューションを提供している。



出典：(株)ソリッドレイ研究所

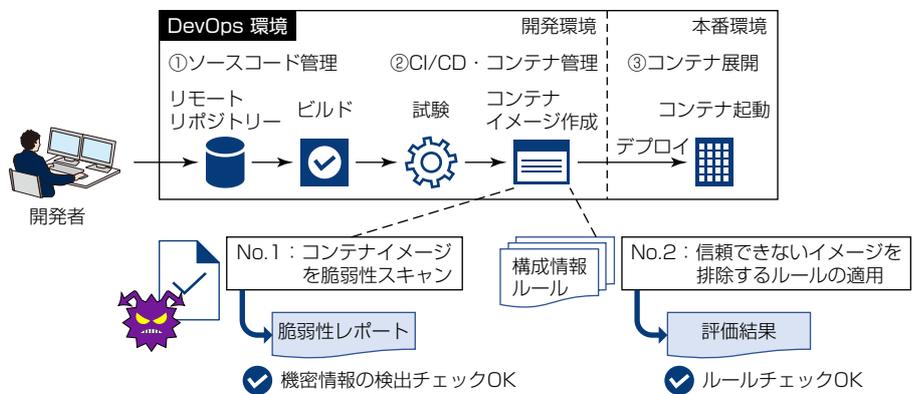
VR技術によるコンテンツ体験イメージ

<取り扱い：三菱電機インフォメーションネットワーク株 TEL：03-6771-5800>

クラウド上でのセキュアなDevOps環境の構築

Build Secure DevOps Environment on Cloud

より安全で効率的な開発運用を進めるため、AWS(注)の継続的インテグレーション/デリバリー(CI/CD)サービスやコンテナサービスを組み合わせることでソフトウェア開発でのソースコード管理から本番環境コンテナ展開までを自動化したDevOps環境を構築した。さらに、この環境のコンテナに対して、米国立標準技術研究所(NIST)が発行するアプリケーションコンテナセキュリティガイド(SP800-190)に沿って84項目のセキュリティ対策を設定した。コンテナイメージに埋め込まれた機密情報の検出や信頼できないイメージを排除するルールの適用などの設定があり、セキュリティ対策が備わっている。今後、DevOpsでコンテナ管理が重要になるプロジェクトに対して適用していく。



NIST SP800-190のセキュリティ基準に沿った今回の対策方法(84項目)

No.	SP800-190対策項目	今回の対策方法
1	埋め込まれた平文の情報	脆弱性スキャンツール(OSS)を用いてイメージ内の機密情報の検出チェック
2	信頼できないイメージの使用	コンテナイメージだけを利用することを強制するために構成情報ルール(AWSサービス)の設定とチェック
...
84	埋め込まれたマルウェア	セキュリティモニタリングツール(AWSサービス)を使用することでマルウェアを検知

DevOps環境

<取り扱い：三菱電機インフォメーションシステムズ株 TEL：0467-41-3158>

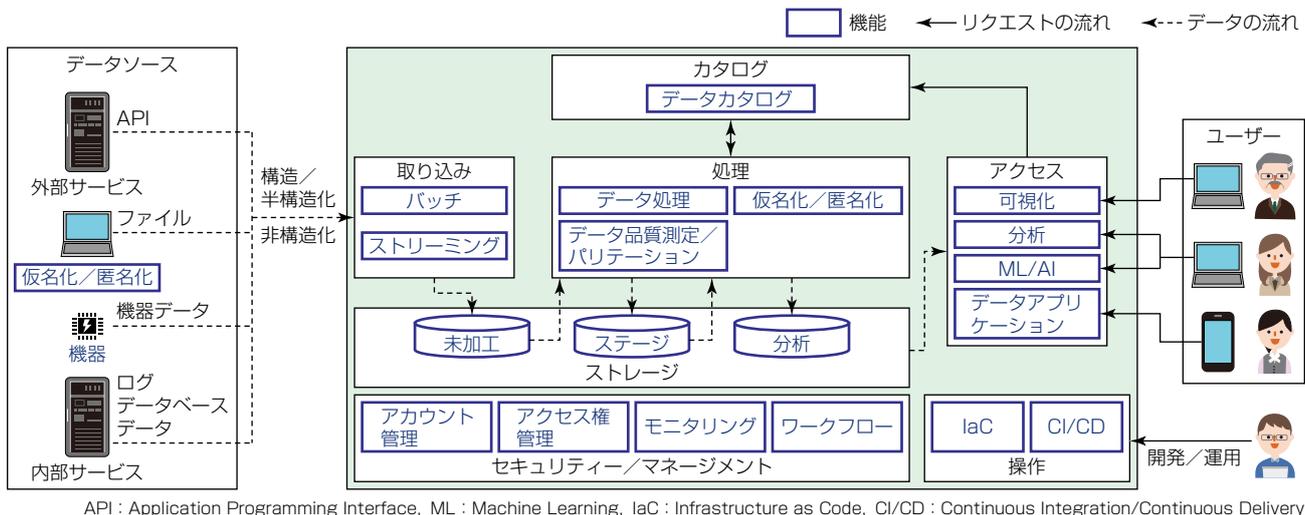
データ利活用システムに向けた共通要素開発“DIAPLANET Core”

Common Elements for Data Utilization Systems "DIAPLANET Core"

昨今、DX(Digital Transformation)やデータ利活用の気運が増大することによって、より早く分析環境を構築するニーズも高まっている。そこで、容易な分析環境構築を可能にする基盤として“DIAPLANET Core”を開発した。今回開発した基盤では、データ分析に関する共通要素を集積し、**図1**に示す機能群から案件ごとに必要な機能を選択したり、独自機能の追加といったカスタマイズ可能なクラ

ウド環境構築スクリプト(テンプレート)、データパイプライン実装ガイドなどの各種マニュアル・ガイドラインを提供することで、データアナリストによる迅速なクラウドベースのデータ利用、変換、分析を可能にした。

今後は開発した基盤を活用することで、より効果的・効率的なデータ利活用システムの構築を目指す。



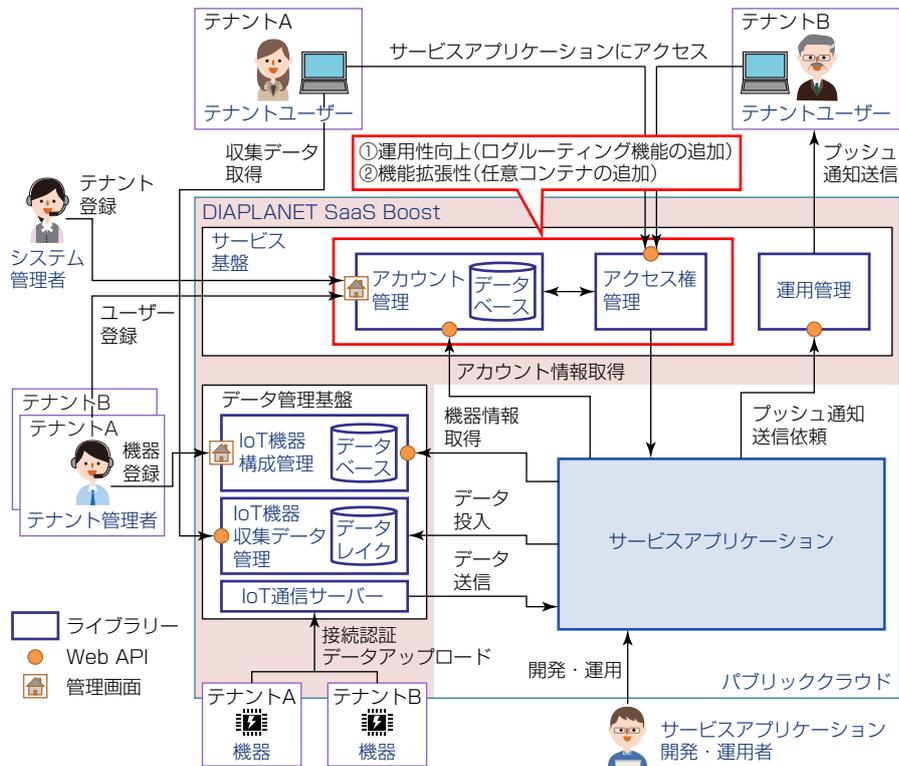
API : Application Programming Interface, ML : Machine Learning, IaC : Infrastructure as Code, CI/CD : Continuous Integration/Continuous Delivery

図1 -DIAPLANET Coreが構築するデータ分析環境

SaaS事業の早期立ち上げを支援する基盤構築パッケージ“DIAPLANET SaaS Boost”

IT Platform "DIAPLANET SaaS Boost" to Accelerate Launch of SaaS Businesses

クラウドを利用したSaaS(Software as a Service)事業の早期立ち上げを支援する“DIAPLANET SaaS Boost”は利用者のアカウントとアクセス権管理を行う“サービス基盤”とIoT(Internet of Things)システム向けにIoT機器の管理・データ収集を行う“データ管理基盤”を提供している。今回、アカウント管理とアクセス権管理を行う“サービス基盤”に対して、システムの運用性向上を狙った追加開発を行った。具体的に追加した機能は、①ログの収集・管理を行うログルーティング機能、②SaaS開発者任意のコンテナ(運用監視を行う監視コンテナなど)を追加する機能である。今後も機能向上と更なる利用拡大に向けて、改良開発を続けていく。



DIAPLANET SaaS Boost概要

■ カーボンニュートラル ■ サークラーエコノミー ■ 安心・安全 ■ インクルージョン ■ ウェルビーイング ■ 要素技術ほか ★ トピック記事